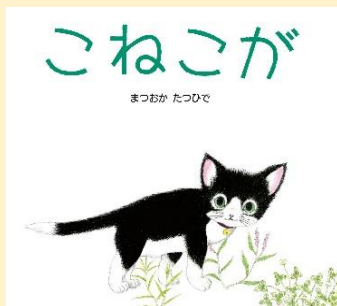


【緑地を楽しむ本】

『こねこが』

まつおかたつひで めくるむ



カツムリなどに会うたびに子猫の目がほんとうにうれしそうに見ひらかれます。ワクワク、ドキドキ、これこそセンス・オブ・ワンダーですね。大喜びで一緒にあそぼう！と。ところがみんな逃げていってしまって、最後はヒヨコたちのおとうさんに追いかけてらされて散々。でも最後のページ、お母さんにぎゅっとされている時のこねこの至福の表情が、私の心までも温かいもので満たしてくれました。このページを見たら、どの子もお母さんにぎゅっと抱きしめ

てもらいたい、そしてこの本を読んであげているお母さんなら子どもをぎゅっと抱きしめてしまうことでしょう。

道ばたの小さな虫や雑草に至るまで丁寧に正確に描かれています。どこにでもある、普段見過ごしてしまう虫や野草たちにも注がれる著者の優しい眼差しを感じました。

見ていると私もお散歩に出たくなりました、今日は何に出会えるでしょう。

めくるむという聞き慣れない出版社です、調べたらまだ創業2年目という出版社でした。子どもの芽をくるむように大切に育てていこうという名前だとか。子ども達に、優しい本をいっぱい届けて欲しいですね。

(小川)